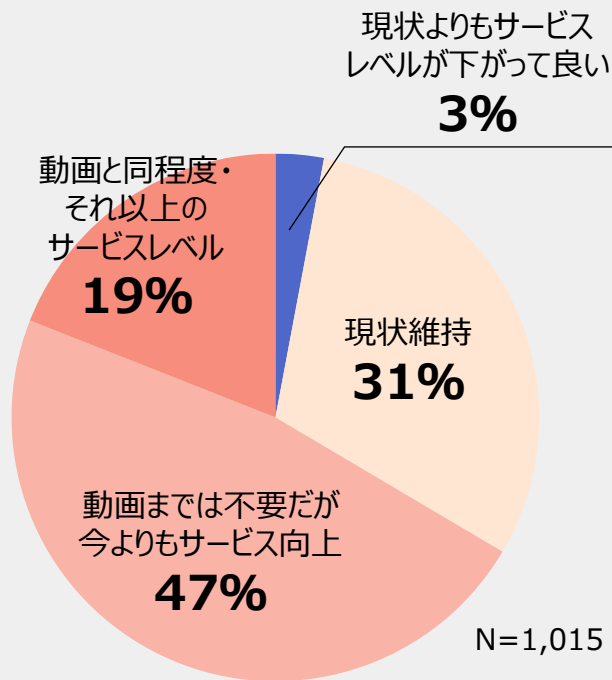


県民トーク

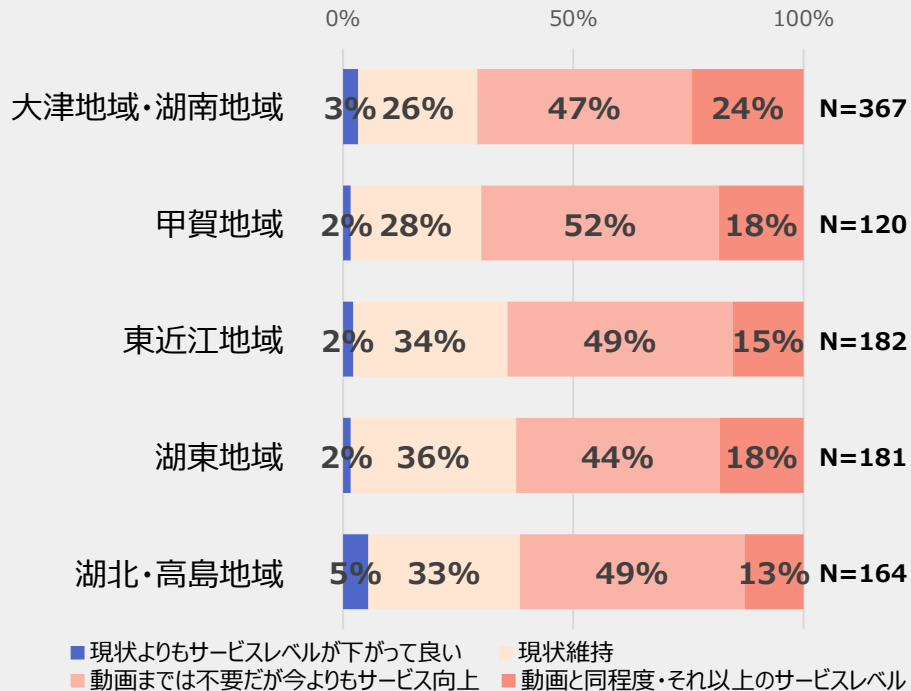
②対話結果 県内居住者 将来の公共交通の意向

●将来の公共交通として、湖東地域以外は「動画※までは不要だが今よりもサービス向上」を求める割合が最も多い

▼将来の公共交通として求めるレベル



▼将来の公共交通として求めるレベル（地域別）



※動画：「SHIGA SMART ACCESS 2040s」

滋賀県の2040年代における理想的な交通の将来像のイメージを共有するため、地域4分類別に描いた動画をアンケート時に再生

▶動画キャプチャ
左：都市部（地域①）
右：郊外2（地域④）

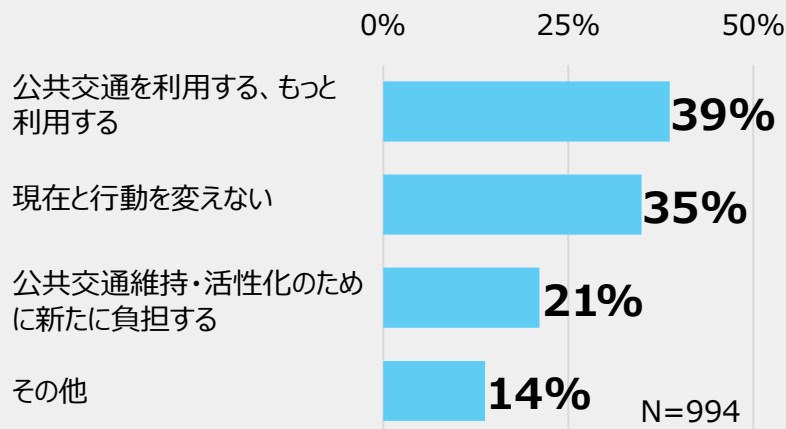


県民トーク

②対話結果 県内居住者 行動意向

●公共交通の状況を踏まえた意向としては、全体では「公共交通を利用する・もっと利用する」が最も多いが、地域により異なる

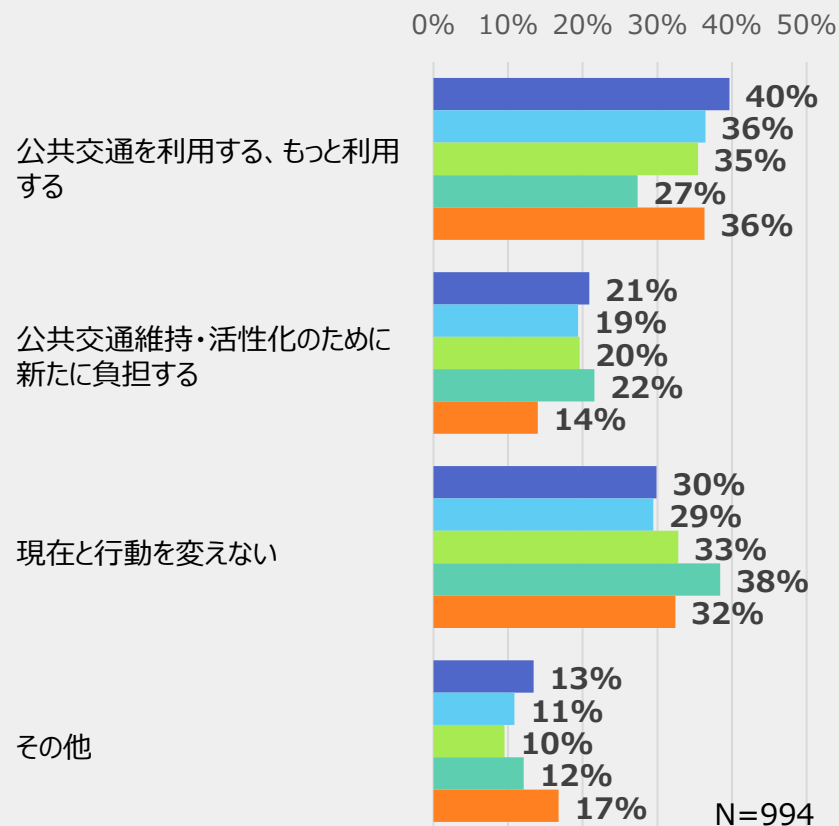
▼公共交通の状況を踏まえた行動意向



▼公共交通の状況を踏まえた行動意向 (その他：自由記述)

- 運賃が下がれば利用する
- 運行本数が増えるならば利用する
- 高齢者の免許返納後のことを考えると公共交通の維持は重要

▼公共交通の状況を踏まえた行動意向 (地域別)



■ 大津地域・湖南地域 (N=388) ■ 甲賀地域 (N=129)
■ 東近江地域 (N=189) ■ 湖東地域 (N=190)
■ 湖北・高島地域 (N=179)

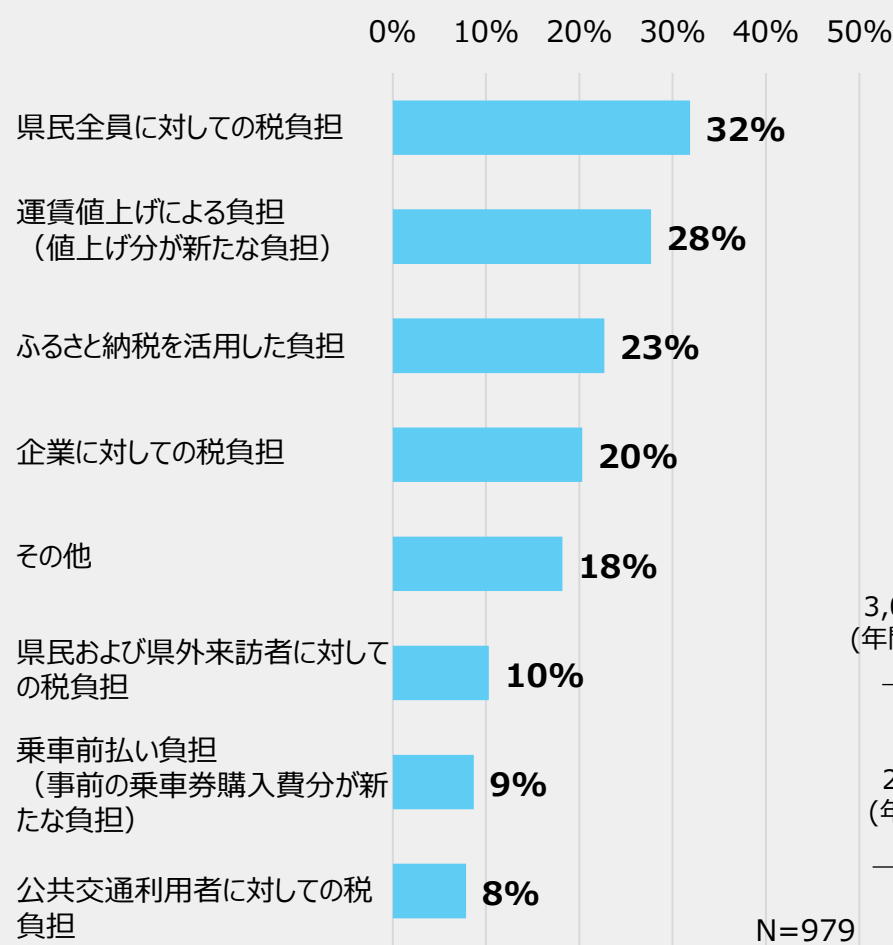
等

県民トーク

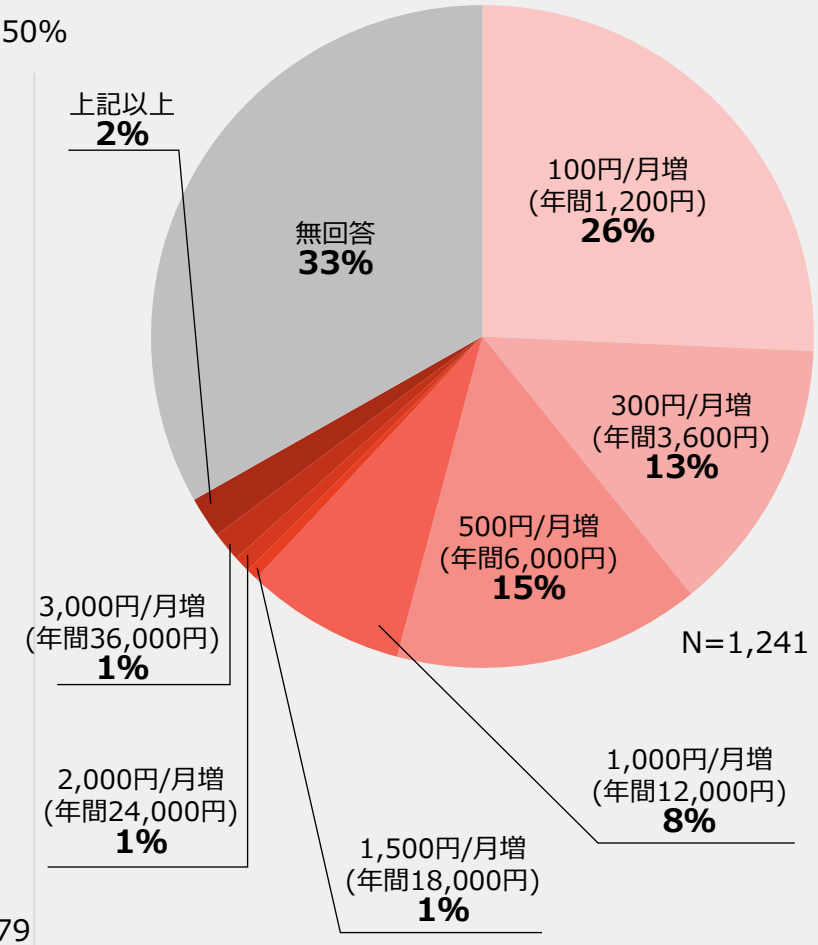
②対話結果 県内居住者 費用負担の意向

●公共交通への新たな費用負担方法は「県民全体に対しての税負担」が最多であり、許容額は「無回答」が約3割と最も多く、次いで100円/月増が約3割

▼公共交通への新たな費用負担方法の意向



▼負担に対しての許容額

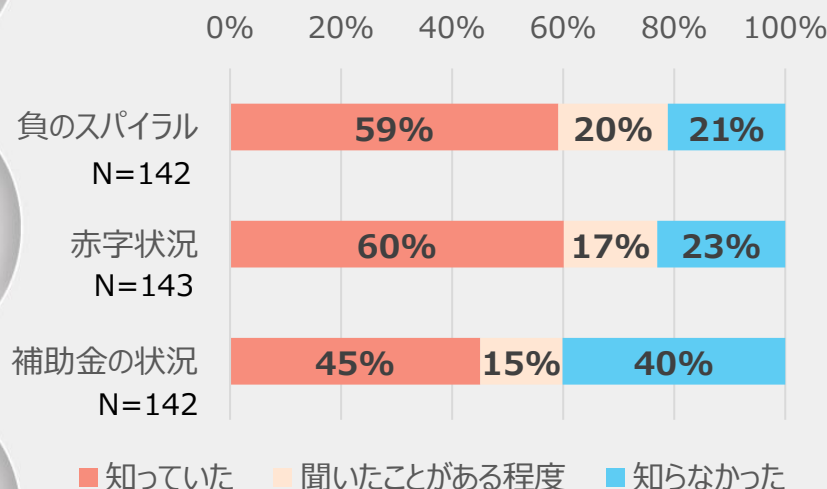


県民トーク

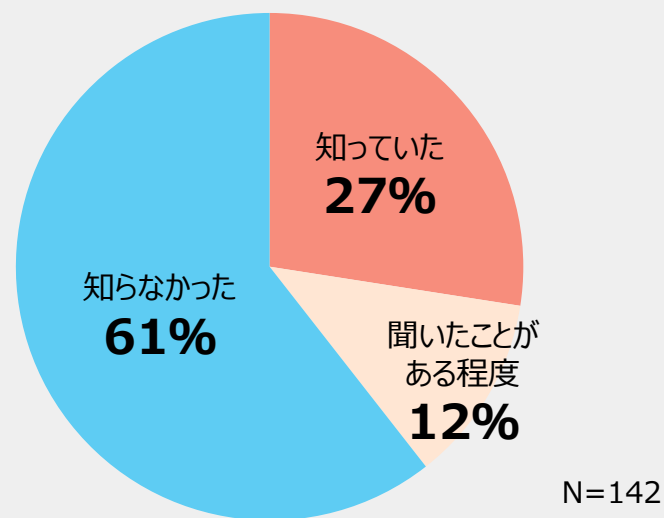
②対話結果 県外来訪者 公共交通の認知度

●公共交通が置かれている状況は過半数が聞いたことがある・知っていたと回答する一方、公共交通の議論は約6割が知らなかったと回答

▼公共交通がおかれている状況の認知度



▼滋賀県での公共交通の議論に対する認知度



【事前提示内容】

○負のスパイラル

自家用自動車へのシフトや少子高齢化による人口減少等により、利用者が減少し、その結果、交通事業者の経営状況は厳しくなり、サービス水準の低下が進み更に利用者が減少するという負のスパイラルに陥っています。

○赤字状況

公共交通の輸送人員は減少しており、また、県内の公共交通(路線バス)のうち、約8割の路線が赤字となっています。このまま利用者数減少が続くと既存路線の維持が困難になり、公共交通が廃止となるおそれがあります。

○補助金の状況

県内の公共交通に対しては、既に県、市、町により約3割の費用負担が行われており、それにより維持ができています。

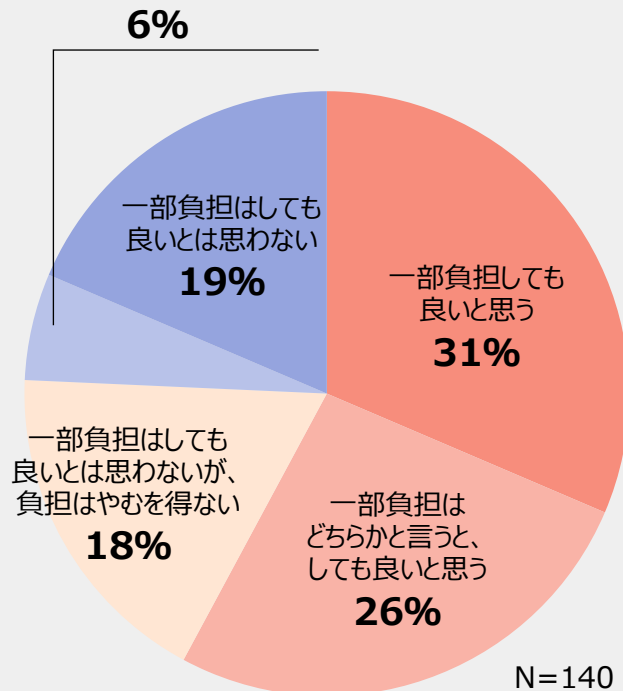
県民トーク

②対話結果 県外来訪者 費用負担の意向

- 県外来訪者のうち、滋賀県来訪時の費用負担を7割以上が許容
- 国民や企業等への公共交通維持・活性化のための新たな負担を7割以上が許容

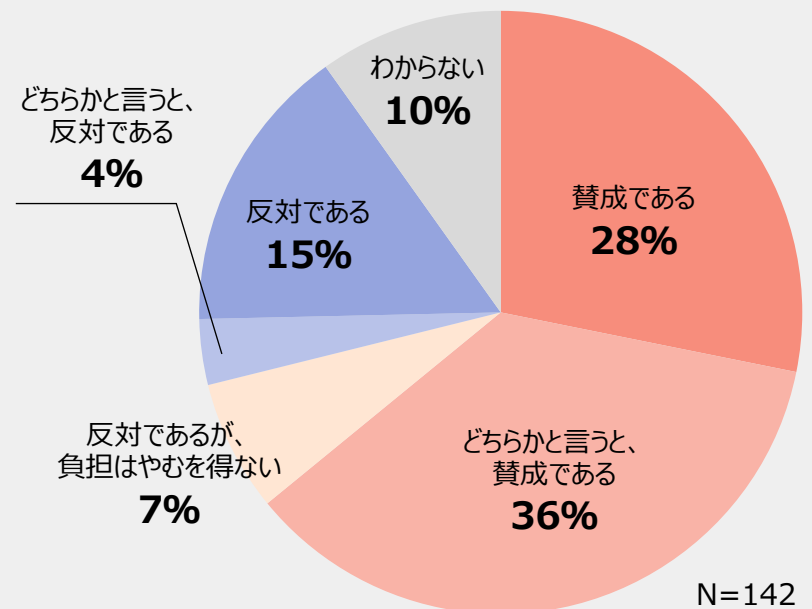
▼滋賀県来訪時の新たな費用負担の意向

一部負担はどちらかと言うと、
しても良いとは思わない



▼国民や企業等へ公共交通維持・活性化のために新たな負担を求めることに対する意向

どちらかと言うと、
反対である



県民フォーラム

①概要

○ **実施日時**：令和5年10月28日(土) 13:00~15:00

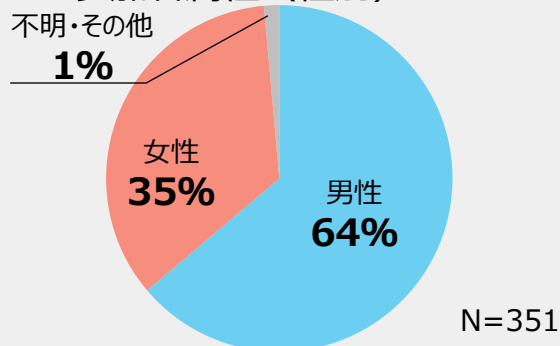
○ **実施場所**：イオンシネマ草津

○ **実施形式**：対面（上限300人）+WEB

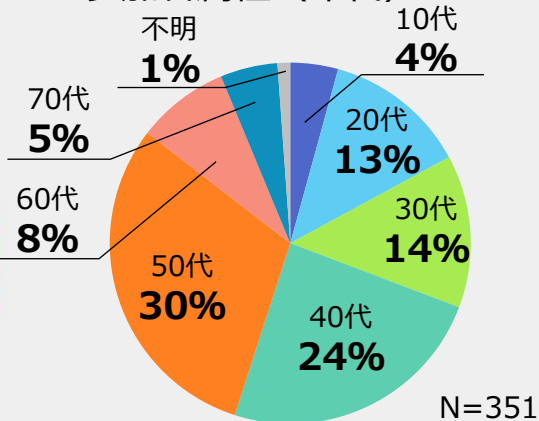
※オーディエンスインタラクションツール「Slido」を活用し、対面・WEBともに参加者からの意見を募集集約

○ **参加者数**：計351名（対面 253名、WEB 98名）

▼参加者属性（性別）



▼参加者属性（年代）



▼フォーラム実施状況



【Slidoを用いた意見募集】

- Slidoとは：二次元バーコードからスマホでいつでも匿名で回答出来るシステム
- 常時質問・感想を回答出来る他、発表の合間に投票を行い登壇者と聴衆の対話に寄与

▼Slidoの使い方説明スライド

滋賀の公共交通 未来アイデア会議 ご意見をいただくために

◆Slidoの使い方

- 会場参加の方
⇒受付でお配りした案内用紙又はスライド画面右上の二次元QRコードから読み取って回答をお願いします
- オンライン参加の方
⇒スライド画面右上の二次元QRコードから読み取り回答をお願いします

【注意事項】
・二次元QRコードを読み込んだあとは、画面を閉じないでください（閉じた場合、回答が保存されないのであります。その場合は、最初から回答をお願いします）
・回答の際は、ブラウザのプライベートモードをオフにしてください（回答が保存されないのであります。）

「Q&A」ご意見・ご質問をいつでもお送りいただけます！

「Polls」進行に沿って投票を行います（画面は自動で切り替わります）

回答は匿名で、いつでも編集可能ですので、ぜひご意見をお送りください！

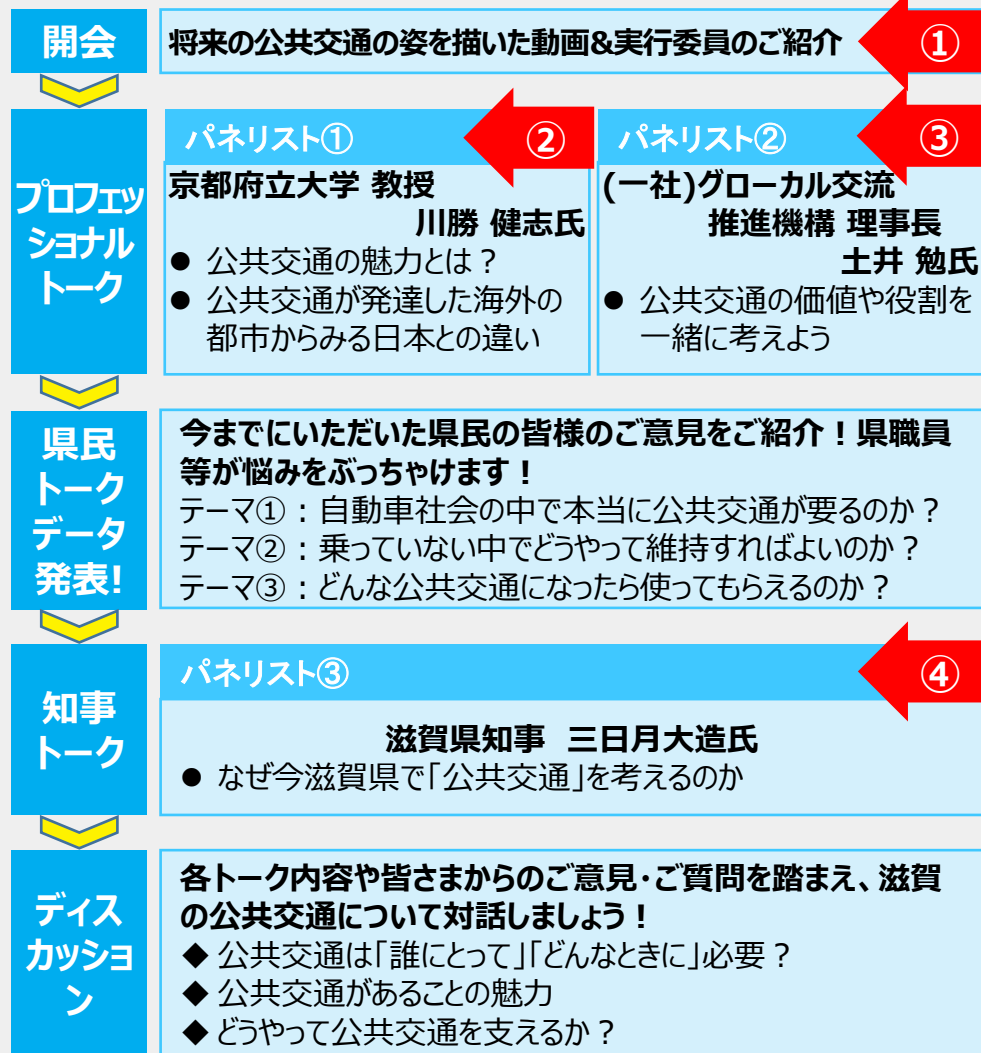
さっそくテスト（Polls）をしてみましょう！

県民フォーラム

②進行

- 進行に応じて計4回の投票機会を設定する他、自由意見も募集

▼ 進行の流れ



▼ Slido質問項目

- | | |
|----------|---|
| ① | 今日どの交通手段で会場まで来ましたか？（複数選択可）

1. 徒歩 2. 自転車
3. バイク(自動二輪・原付) 4. 自動車
5. タクシー 6. バス 7. 鉄道
8. その他 |
| ② | 動画※を踏まえて、あなたが思う将来の公共交通の望ましいレベル

1. 現状よりもサービスレベルが下がって良い
2. 現状維持
3. 動画までは不要だが今よりもサービス向上
4. 動画と同程度・それ以上のサービスレベル |
| ③ | 公共交通は、誰に・どんなときに必要だと思いますか？（自由記述） |
| ④ | どのような“まち”で暮らしたいですか？そのために、どんな公共交通を望みますか？（自由記述） |

※動画：「SHIGA SMART ACCESS 2040s」（スライド11と同じ）

そのほか、フォーラムを通して公共交通に対する質問・疑問やアイデア等自由意見を募集

県民フォーラム

③意見交換 (Slido) 2/2

▼自由意見投稿状況

総投稿数	384件
フォーラム表示投稿数 ※総投稿数のうち、フォーラム中に画面に 掲示した投稿数	302件 (79%)
一意の投稿者数 (同一ID除外) ※ID空欄は1名としてカウント	136人以上

▼投稿内容抜粋



公共交通の維持には、都市計画としっかりと連携させる必要がある。都市機能や居住の集積とセットで考える必要があるのでは。



交通事業者の立場から、運転者のなり手が圧倒的に不足している。この問題も避けて通れないのではないかと。



交通税は負担が大きい。ライドシェアの導入、道路整備のための税金を公共交通維持に回すなど、増税以外の手段を考えるべき。

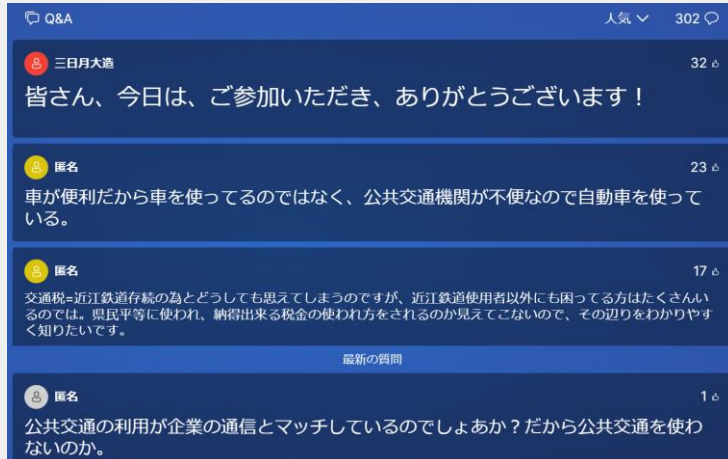


利用しなければサービスが低下し不便になり、利用者が減る負のスパイラルに陥っている。皆がこれを転換しようと思わなければ変わらない。

▼フォーラムの様子



▼スマホ画面表示状況 (人気順)



ご意見箱（県内主要駅設置） でいただいたご意見

● 県内主要駅でのご意見箱からはサービスレベル向上に関わる要望が8割

▼概要

日時	場所	回収数
9/25(月)～ 10/23(月)	近江今津駅、大津駅、貴生川駅、京阪びわ湖浜大津駅	268件
10/18(水)～ 11/16(木)	堅田駅、彦根駅、南草津駅、近江鉄道八日市駅	

▼回答内容

項目	回収数	比率	
運行本数増加	81	30.2%	81.0%
利用環境改善	108	40.3%	
新交通システム	28	10.4%	
交通税	4	1.5%	1.5%
その他	47	17.5%	17.5%
合計	268	100.0%	100.0%

▼自由意見投稿状況



お年寄り、障がいを持つ方、子どもなど、一番必要とされる方を切りすてない、人にやさしい交通であって欲しいです。

車の運転ができなくても生活できるようにしてほしい。

コンビニエンスストアなどの近隣施設と連携したバス待合スペース確保

故障トラブルや大雨の時電車が不通になったら、代替バスで対応してほしいです。

湖西線の本数を30分に1本にして欲しい

社会の安全安心を支える公共交通従事者の給料が低すぎる。働き手のやる気が損なわれていくどころか、安心して公共交通機関を利用できなくなることが問題視されるべきであり、賃金の上昇こそがこれからの公共交通に重要である。

県民トーク・県民フォーラム・ご意見箱 対話結果 まとめ

公共交通の必要性

- ・公共交通をほぼ使わない人も含め、ほとんどの人が必要と回答（96%）
- ・自身や親族が使う以外に「他の人に必要」と回答した人が約3割

・公共交通を使わない人についても、“他の人にとって必要”という理由で必要と回答していることから、公共交通の維持・活性化は県民にとって必要

将来の公共交通として求めるレベル

- ・現状よりもサービスレベルが下がって良い人は少ない（県民トーク3%、県民フォーラム10%）
- ・今よりもサービス向上を求める人は多い（県民トーク66%、県民フォーラム79%、ご意見箱81%）

・将来の公共交通のサービスレベルについて、現状維持を最低限の目標とし、現状よりもサービスレベルの向上が必要

公共交通の状況を踏まえた行動意向

- ・公共交通を利用する・もっと利用する人が39%
- ・現在と行動を変えない人が35%

・公共交通が必要と思いつつも現在と行動を変えない人に対しての行動変容を促す仕組み構築が必要

新たな費用負担方法・許容額の意向

- ・県民全員に対しての税負担が32%で最多
- ・許容額は「無回答」が33%で最多

・公共交通を使わない人も含めた負担、受益者負担等、今後も議論が必要

- ・県民にとって公共交通は必要であり、将来的なサービスレベルは現状維持を最低限とし、向上を求めている意見もあることから、公共交通の維持・活性化の取組みを進める必要あり
- ・公共交通の維持・活性化のために、行動変容を促すことによる利用者増加（収入増）や既存ストックの有効活用等の種々の方法を検討する必要あり